

カトリック千葉寺教会 ★ボランティア通信★

No. 38 (2012年2月19日号)

カトリック千葉寺教会信徒の皆様

災害支援対策グループでは、「カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）」の支援活動をサポートすると共に、主にカトリック宮古教会（岩手県宮古市）からの依頼に応えるべく、微力ながら被災者支援のための活動を行っています。

これからも、被災者の方々と向き合い、共に歩いていきたいと思っています。

皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

災害支援対策グループ担当：

A. カトリック東京大司教区より

☆カトリック東京大司教区 東京教区からのお知らせ

①「脱原発署名への協力のお願い」について

「脱原発署名への協力のお願い」

添付してある資料の通り、カトリック東京大司教区・東京教区からのお知らせとして「脱原発署名への協力のお願い」が発信されております（2012年1月30日付）。

ご協力の程よろしくお願いいたします。

なお、提出期限が2月28日（火）となっております都合上、2月26日（日）ミサ後まで受付させていただきます。署名用紙は、添付分をご使用いただくか、また、お聖堂の受付にも設置してございます。よろしくお願い申し上げます。

B. カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）より

☆講演会のお知らせ

①「武蔵野北宣教協力体 講演会」開催について

(2012年2月13日発信)

「武蔵野北宣教協力体 講演会（CTVC後援）」

★実施要項★

日時：2012年2月26日（日） 15:00～

場所：カトリック秋津教会

（清瀬駅から久米川駅行バス「上宮」下車徒歩3分 ベトレヘムの園病院向かい）

※カトリック秋津教会

〒204-0024 東京都清瀬市梅園3-14-18

TEL. 042-491-2781

講師：成井大介師（神言会司祭。カリタスジャパン援助部会秘書）

テーマ：被災地への援助、報告とこれから

主催：カトリック大司教区武蔵野北宣教協力体（秋津教会・清瀬教会・小平教会）

後援：カトリック東京ボランティアセンター（CTVC）

カトリック東京大司教区
Catholic Church * Archdiocese of TOKYO



概要

取り組み

大司教

補佐司教

組織・委員会

情報コーナー 教会案内 サイトマップ・検索

年間行事予定

ライブラリー

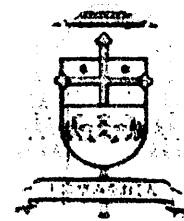
更新情報 教区からのお知らせ 教区ニュース 福音のヒント

文字サイズ | 拡大 | 標準

TOP > カトリック東京大司教区 > 東京教区からのお知らせ > 2012

ARCHBISHOP'S HOUSE 16-15, SEKIGUCHI 3-CHOME
BUNKYO-KU, 112-0014 TOKYO JAPAN

112-0014 東京都文京区関口3-16-15
カトリック東京教区事務局
Tel.03-3943-2301 Fax: 03-3944-8511



Archbishop of Tokyo

2012年1月30日

カトリック東京大司教区大司教 岡田武夫
補佐司教 幸田和生

脱原発署名への協力をお願い

小教区主任司祭様、皆様

＋主の平和

昨年3月11日に発生した東日本大震災から丸1年が経とうとしています。大地震と大津波により東京電力福島第1原子力発電所の重大事故が発生し、大量の放射性物質が飛散しました。多くの人々の生活が奪われ、目に見えない放射能に脅かされている人の数は今もはかりしれません。

わたしたち日本の司教団は、この悲惨な現実を目に向け、神の前に謙虚に自分たちの生き方を振り返り、「人間を守る」という福音の要請に応えるため、「いまずぐ原発の廃止を」というメッセージを発表いたしました。昨年7月から、司教団としての勉強会を開き、何度も会議を重ねた上で、11月に仙台で行われた特別臨時司教総会においてこのメッセージを採択いたしました。このメッセージは専門家が作ったものではありません。一人一人の司教が宗教者・キリスト者として、また教会の司牧者として、祈りのうちに神のみ旨を求めながら討議を重ね、全員がこのメッセージに賛同するにいたったものです。

今回、あらためて「脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める全国署名(さようなら原発1000万人署名)」への協力をお願いすることにいたしました。この署名については、これまでも教会内でさまざまな呼びかけがありましたが、この署名運動の会に参加している谷大二司教様(日本カトリック正義と平和協議会会長)の呼びかけにこたえ、司教団メッセージの訴えを実現するために、東京教区も取り扱い団体となって、皆様に再度、呼びかけることにいたします。

わたしたち司教は、個々の社会的問題について、一人一人の信者が自分の良心に従って判断し、行動することを尊重します。しかし同時に、日本の全司教の祈りと決断を真摯に受け取ってくださるようお願い申し上げます。

司教団メッセージはカトリック中央協議会のウェブサイトで、日本語、スペイン語、韓国語、英語で読むことができます。子どもたちや、外国籍の方々にも署名をお願いします。2月28日が締め切りになっていますので、各小教区などでそれぞれに署名を集め、「さようなら原発」一千万人署名市民の会あてに送付してください。

原発事故に苦しむすべての人の上に神様の力強い御助けがあることを祈りつつ。

脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める全国署名

(さようなら原発 1000 万人署名)

趣旨

東京電力福島第一原子力発電所での連続爆発、炉心溶融（メルトダウン）事故によって、海も大気も大地も汚染され、これから被曝者が大量にでることが予想されます。

わたしたちは、広島、長崎被爆者の問題を未解決のまま、原発の被害者であり、加害者であるという立場にたたされました。

いまの子どもたちばかりか、まだ生まれてこない子どもたちにも、計り知れない悪影響を与えるとの不安に駆られています。人間は核とは共存できないのです。

父も母もきょうだいも、幼い子たちになにを食べさせ、どこへ避難させるべきか悩んでいます。答えはありません。わたしたちは未来の命のために、自然を傷つけ、エネルギーをあさって浪費する生活を見直し、あらゆる生物と共存する、「持続可能で平和な社会」を希求します。

まず、原発廃止に向けて政治のカジを切り、核エネルギー政策からの大転換を強く訴え、以下のことを要請します。

要請事項

1. 原子力発電所の新規計画を中止し、浜岡をはじめとした、既存の原子力発電所の計画的な廃炉を実施することを求めます。
2. もっとも危険なプルトニウムを利用する、高速増殖炉「もんじゅ」および核燃料再処理工場を運転せず、廃棄することを求めます。
3. 省エネルギー・自然エネルギーを中心に据えた、エネルギー政策への転換を早急に始めることを求めます。

以上

